

2004年9月9日
 三菱ふそうトラック・バス株式会社
 コミュニケーションチーム

三菱ふそう 47案件の対応進捗状況報告

三菱ふそうが市場措置を予定している47案件の進捗状況等につき、下記の通りご報告申し上げます。

47案件のうち、市場措置が終わっていない33件につきましては、9月下旬までに届出予定が17件、10月下旬までが16件となります。

また、大型トラックのクラッチハウジング不具合暫定対策は、9月4日現在で前回報告時の90.0%から3.4%アップして93.4%になりました。

記

・今週の報告事項

(1) 47案件の現在までのリコール等届出状況 ()は前回の会見の数字

・[資料1]をご参照下さい。

	~9月8日	9月9日	~9月下旬	~10月下旬	精査中	合計
リコール (43件)	13 (11)	0 (0)	15 (15)	16 (13)	0 (4)	44 (43)
改善対策 (4件)	1 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (1)	3 (4)

・本日、リコール届出を行う案件はございません。

(2) 今後2週間以内に届出が完了する項目

- ・ [資料2]をご参照下さい。
- ・ 今回新たに下記5件の案件が追加され、先週までに発表した7件と合わせて、合計12件となりました。
- <追加のリコール予定5件>
 - No.29 中型トラック・中型バス フロントハブベアリング焼付き
 - No.32 大型トラック・大型バス インジェクションポンプラックの破損
 - No.36 大型トラック エンジンリヤマウント破損
 - No.41 小型トラック ナックルアームボールスタッド折損
 - No.47 大型バス・中型バス・小型バス 急ブレーキ時の非常扉シート倒れ
- ・ No.47の大型バス・中型バス・小型バス 「急ブレーキ時の非常扉シート倒れ」につきましては、保安基準不適合と判断した為、改善対策からリコールに変更致します。
- ・ また47項目以外に下記2件のリコール等の届出を行います。
 - 大型トラック・大型バス エンジンハーネスの損傷
 - 中型トラック リヤブレーキホイールシリンダ誤品

(3) 届出済み市場措置の状況(9月4日現在)

- ・ [資料3]をご参照下さい。
- ・ 大型トラック・バスのフロントハブ不具合対策は、恒久対策実施率が**53.3%**(51.7%)、暫定対策が**18.7%**(18.0%)となりました。尚、全体の実施率は、**72.0%**(69.8%)となりました。
- ・ 冒頭申し上げましたとおり、大型トラックのクラッチハウジング不具合暫定対策は、9月4日現在**93.4%**になりました。
- ・ 緊急点検台数は前回比約1.7万台増の約17.0万台、無料点検台数は同約2.0万台増の約25.1万台になりました。

(4) 6/14以降の事故案件について

- ・ [資料4]をご参照下さい。
- ・ 8月26日に山陽自動車道で発生した大型トラックの車両火災について9月10日にスクランブル調査を行います。

(5) 大型車クラッチハウジングリコール届出以降の重要不具合(破断発生状況)

- ・ [資料5]をご参照下さい。
- ・ 前回報告時点からの重要不具合はございません。

(6) クラッチハウジングの拡大調査の計画について

- ・ 当社は過去のクラッチハウジング補用品の出荷状況を把握するため、更なる社内調査を進めてまいります。その調査結果、及び結論を9月末の会見を目処に中間報告のことに致し度、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。追加の報告事項は以下のとおりです。

1. 2001年7月から2004年5月までの208件について重大不具合・事故の有無についての再調査。
 - 前回調査不明分他の再調査および精査。
 - 販売会社拠点に出向き、帳票類をもとに聞き取り調査を実施。
2. 2001年7月より更に遡って、情報の入手が可能な限り、路上故障や事故に関する詳細についての調査を行う。
3. 商品情報連絡書が僅かしか発行されなかった理由についての分析

以上

対策実施予定の47案件一覧

2004.9.9

リコール一覧

三菱ふそうトラック・バス株式会社

- 1.リコール届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もあります。
 2.リコール届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もあります。
 3.リコール届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もあります。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
1	クラッチハウジング破損	大ト	ザ・グレイト、 スーパーグレイト	83/6～99/4	168,002	3	15	3	5/26届出	大型トラックのエンジンと変速機(トランスミッション)の結合部(クラッチハウジング)の剛性が不足しているものがあり、また、トランスミッション・メーンシャフト後部のスライندوقと継ぎ手(アウトプットフランジ)の噛み合い部分の隙間が不適切なため、当該隙間が経年変化などで増大すると、高速走行時の駆動系振動が大きくなり、クラッチハウジングに亀裂が生じるものがある。また、クラッチハウジングに铸造時の傷などがある場合、この亀裂の発生が早まる可能性がある。このため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、クラッチハウジングが破断してトランスミッション又はプロペラシャフトが脱落、又は周辺部品を破損させる二次的不具合を生じるおそれがある。
2	大型トラックプロペラシャフト破損	大ト	ザ・グレイト スーパーグレイトの F.S.,FY	94/11～02/9		0	3	0	10月上旬	リコール実施後の車両においてタンデムプロペラシャフトを取付けているリヤリヤデフのキャッスルナットがゆるんで、最悪の場合ナットが外れプロペラシャフトが脱落する。
3	バス プロペラシャフト破損	大バ	E7ロッキー、 E7ロバス	91/12～02/4	266	0	2	0	6/15届出	流体式リターダ(補助制動装置)を装着した大型バスにおいて、プロペラシャフト接続部(エンドヨーク)の構造が不適切なため、エンドヨークに設けてある十字継手(スバイダ)のベアリング抜け出し防止用のストッパーが発進停止の繰り返しにより摩耗する、又はプロペラシャフト組立て時に損傷する可能性がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングにガタを生じてプロペラシャフトが過大に振動し、最悪の場合、ベアリング固定金具又は取付ボルトが折損して、プロペラシャフトが脱落するおそれがある。
4	駐車ブレーキスプリング破損	大バ 大ト	93&95E7ロッキー 91&93ザ・グレイト FU4,FR4 エアオーパブレーキ ハイムバーク付車	92/12～98/7		0	0	0	10月上旬	スプリングが腐食して折損した場合、下記 又は の現象が発生、スプリング折損により駐車ブレーキ能力が低下する。走行中に駐車ブレーキが効き始める。折損したスプリングでダイヤフラムが傷ついた場合、エア洩れが生じて、駐車ブレーキが解除できなくなる。
5	フロントサスペンションボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロント独立 懸架車)	93/11～98/12		0	0	0	10月下旬	ボールジョイントの樹脂ベアリングが摩耗してガタが発生し、そのままの状態で使用するとボールジョイントの金属ケースが損傷し、最悪の場合、ボールジョイントがサスペンションアームから外れ、走行不能になるおそれがあります。
6	タイロッドボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロントリジッド アクスル車)	93/11～98/7		0	0	0	10月下旬	タイロッドエンドのボールジョイントが摩耗して、走行中ハンドルに振動を感じることがあり、そのままの状態で使用をつけると、最悪の場合ボールジョイントがタイロッドから外れ、走行不能になるおそれがあります。
7	燃料タンクブラケット破損	小ト	キャンター	97/2～02/5	418	0	0	0	6/15届出	燃料タンク取付金具の寸法精度並びに燃料タンクを取付金具にボルトで締結する部分の構造及び当該ボルトの締付けトルクが不適切なため、走行中の振動等により当該ボルト又は取付金具をフレームに固定するボルトに緩みが発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料タンクに亀裂が発生し、燃料漏れが発生するおそれがある。また取付金具に亀裂が発生し、最悪の場合、当該取付金具が破損し燃料タンクが脱落するおそれがある。
8	駐車ブレーキケーブル破損	小ト 小バ	キャンター、 ローザ	93/11～01/3		1	0	0	10月上旬	駐車ブレーキのケーブルが、T/M後部のセンターブレーキとの係合部で折損し、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがあります。
9	パワーステアリングサーキュレータ破損	小ト	キャンター	93/10～97/2	15,227	0	0	0	7/28届出	パワーステアリングギヤボックス 内部のボール循環筒(サーキュレータ)の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度余裕が不足している。そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレータが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。
10	デッドアクスルハブベアリング焼付き	大ト	ザ・グレイト、 スーパーグレイトの FU車(除く25t)	89/9～00/3	31,255	0	0	13	8/25	後軸(デッド軸)のハブ内部に水が浸入しハブベアリングが焼付き、タイヤのバーストや最悪の場合車両火災に至る恐れがある。
11	フロント独立懸用アームシャフト	大バ 中バ	大型バスMS72 .MU515.525 中型バス MMS26.527	82/12～95/8		0	0	0	10月下旬	前輪独立懸架装置のアップ・アームに亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると最悪の場合アップ・アームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがある。
12	T/M ニードルベアリング焼き付き	大ト 大バ	スーパーグレイト、 大型バス	00/3～02/12		0	0	0	10月下旬	3rd.4thのニードルベアリングの焼付きにより、T/M操作不能、ギヤ入り不良、ギヤ抜け、異音が発生する。
14	キャブフックかかり不良	中ト	ファイター FK,FL,FM,FN (手動チルト車)	92/6～98/9	91,535	1	1	0	9/1	フックコントロールレバーが下がりが切らない位置でチルト操作をすると、フックとシャシ部品が干渉してフックが変形し機能しないおそれがあります。最悪の場合、急制動時フックが外れキャブが前に倒れるおそれがあります。
15	リアリーフスプリングのハンガーブラケットからの脱落	大ト	スーパーグレイトの FUトラニオンサ スペンション車	96/4～00/12		1	1	0	9月下旬	FUトラニオンサスペンション車において、高重心の積載をした状態で急な旋回をした時に、旋回内側の後々軸リーフスプリングアクスル側ブラケットのリバウンド押さえの爪部から外れることがある。

- 1:リ-ル届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2:リ-ル届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3:リ-ル届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
16	リアアクスルチューブ破損	大ト	ザ・グレート、 スーパーグレート の低床車 FN4,FS4,FS5,F Y5	83/7～98/12		0	0	0	10月下旬	リアアクスルチューブがアクターベアリング部付近で折損し、走行不能になるおそれがある
17	非常ドアの開放	小バ	ローザ BE6、BG6 (非常口付車)	97/10～04/6	3,666	0	0	0	9月下旬	走行中に非常庫の警報ブザーが鳴ることがありそのままの状態で行った場合、非常庫開放の恐れがある。
18	ABS/EZGO ハイドロユニット不具合	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (ABS/EZGO、A BS/EZGO/ASR 装着車)	93/11～02/3		0	0	0	9月下旬	ブレーキの油圧を制御するハイドロリックユニット(HU)内部の故障により、ブレーキペダルのストロークが増加し、制動力が低下するおそれがあります。
19	スプリングブレーキエアチャンバーブラケット破損	中ト	ファイター	99/5～02/2	108	0	0	0	7/14届出	後2軸車において、後々軸のスプリング式駐車ブレーキチャンパー取付金具(ブラケット)の強度が不足しているため、走行中の振動等により当該ブラケットに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ブラケットが破損し駐車ブレーキ能力が低下して、最悪の場合、チャンパーが脱落し、当該後々軸の駐車ブレーキが作動不能になる、又は、エアホースが損傷してエア漏れを生じるおそれがある。
20	スプリングブレーキチャンパーへの水侵入	中ト 中バ	ファイター エアロミディ	99/3～00/6	1,760	0	0	0	7/14届出	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、チャンパー本体とホイールシリンダとの接続部のシール材の塗布が不適切なため、チャンパー及びホイールシリンダ内に水が浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホイールシリンダ内部及びウェッジが錆びついて破損し、あるいは、冬期に凍結し、駐車ブレーキが作動不良となるおそれがある。
21	ホイールパークウェッジ破損	大ト 大バ	エアロクイン、エアロ パス、スーパーグ レート	92/12～98/7		0	0	0	10月上旬	駐車ブレーキ用ウェッジ部が破損し、駐車制動力が低下する。(ウェッジ部破損輪のみ)
22	ホイールパークウェッジ破損	大ト 大バ	大型バス 98MS8、スーパー グレート98FU5 プッシュ式ホイール パーク仕様車 (FUはオプション)	97/12～98/12	552	0	0	0	7/14届出	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、ブレーキシューを拡張するウェッジロッド先端部のローラに熱処理が不適切なものがある。そのため、当該ローラが早期に破損して、最悪の場合、駐車ブレーキが作動不良となり、駐車制動力が低下するおそれがある。
23	ハイドロリックブースタへのエアの混入	小ト	キャンター (ハイドロリック ブースタ装着 車)	99/3～04/5	9,018	2	2	0	7/21届出	ハイドロリックブースタASSVの故障により、フロントブレーキオイルラインにエアが混入し、徐々にペダルのストロークが増加して、制動力が低下するおそれがあります
24	プロベラシャフト脱落	大ト	スーパーグレート の FV514HR (M130S2×5 T/M搭載車) FV540HR	精査中		0	0	0	10月中旬	後前軸インプット部エンドヨークを止めるキャッスルナットが緩み、プロベラシャフトが脱落する。
25	チェントランスファオイル洩れ	中バ	中型バス MK126(T- Drive)初号～ 93MJ(84/12 ～93/9生産車)	84/12～93/9		0	0	0	10月中旬	連続高速走行時チェントランスファー内油温が上昇し、ブリーザーからオイルが噴出することがあり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。
26	フライホイールリングギアの磨耗と破損	大バ	大型バス MP3(6M7)	00/5～04/5	2,052	0	0	2	9月中旬	リングギアにスターピニオンが引っ掛かり、スターが回転しなくなる。(エンジン始動不良)この状態でスターON操作を繰り返し行った場合、スタータクネットスイッチがショートし、スターとスターケル間のハーネスに大電流が流れ、スターハーネスが焼損する恐れがある。
27	フロントハブベアリングへの水侵入	小ト	キャンター (フロント独立 懸架車)	02/5～04/3	35,395	0	0	0	9月中旬	フロントハブインナーベアリングの発錆・損傷によりフロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動、またはガタが発生し、最悪の場合、走行不能となるおそれがあります。
28	フロントハブベアリング焼き付き	大ト	スーパーグレート の FS車	精査中		0	0	1	9月下旬	フロントハブアウトベアリングに焼き付きが発生する
29	フロントハブベアリング焼き付き	中ト 中バ	ファイター、エア ロミディ	02/06～04/09	34,531	0	0	1	9月中旬	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。

1:10-M届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もあります。
 2:10-M届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もあります。
 3:10-M届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もあります。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
30	ハブ破損(ベアリング破損による)	中 中バ	ファイター,エア ロミディ	精査中		0	0	0	10月下旬	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。

1:リール届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もあります。
 2:リール届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もあります。
 3:リール届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もあります。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
31	A/T オイルホース破損	中ト	ファイター (3速オートマチック トランスミッション車)	92/9～03/1	1,771	0	0	1	9月中旬	A/T油温上昇によりA/Tオイルクーラホースが破損して、オイルもれが発生し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがあります。
32	インジェクションポンプラックの破損	大ト 大バ	8DC11搭載 大型トラック・バス クレーン車・総 輪駆動車	94/11～96/7	5,161	0	0	12	9月下旬	噴射ポンプのコントロールラックが折損し、エンジンが吹け上がる。
33	キャブ電源ハーネスの損傷	大ト	スーパーグレート FU,FV,FT,FS他	96/4～03/11	53,760	0	0	0	9/1	キャブ前面の電源ハーネスの被覆が損傷・断線し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある
34	燃料パイプクランプの脱落	小ト 小バ 中ト	キャンター、ロー ザ、ファイター NX (4M5型エンジ ン搭載車)	99/3～00/8		0	0	31	9月下旬	噴射管クランプが脱落し、スタータ電源に配線されているS端子付近に落下する可能性があり、その場合、エンジン始動時、あるいは始動直後の走行時にショートしてスタータハーネス等から発煙し、最悪の場合、発火するおそれがあります。
35	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	大ト	スーパーグレート の FV-R,FP-R (8M22T, 6M70T搭載車)	00/3～03/1	739	0	0	5	9月中旬	箱型マフラーのドラム部栓溶接際より亀裂し、高温の排気ガスが洩れるおそれがある。
36	エンジンリヤマウント破損	大ト	スーパーグレート (6M70搭載車)	99/8～03/02	7,104	0	1	0	9月中旬	エンジンリヤマウントラバーの金具とラバーの際に亀裂が発生し、最悪の場合、エンジンリヤマウントラバーが破損して、エンジン、トランスミッションが搭載位置からずれるおそれがある。
37	A/T油温上昇	中ト	ファイター (3速オートマチック トランスミッション車)	92/9～97/8	967	0	0	0	9月中旬	A/T油温の上昇によりA/T内部の部品に異常が生じ、走行中に変速不能となったり、発進不能となるおそれがあります。
38	アクスルシャフト破損	大ト	ザ・グレート FT	83/7～95/4		1	0	0	10月中旬	急発進等でリヤアクスルシャフトに急激な力が繰り返し加わると、最悪の場合、リヤアクスルシャフトが亀裂破損する
39	ナックルアーム破損	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (パワーステア リング装着車)	85/10～89/3		0	0	0	10月下旬	ナックルアームに亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると最悪の場合ナックルアームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがあります。
40	キャブハーネス不具合によるスタータ破損	小ト	キャンター	95/3～96/12	36,787	0	1	0	8/4届出	キャブ内中央付近インパネ内で、ワイパー作動時にワイパーリンクとハーネスが干渉し、ハーネスがショートして電装品の作動に異常(ワイパー作動時、ウォーニングランプ点灯やスタータが回るなど)をきたすおそれがあります。

1. 10-M届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もあります。
 2. 10-M届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もあります。
 3. 10-M届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もあります。
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
41	ナックルアームボールスタッド折損	小ト	キャンター (広幅車)	89/10 ~ 91/5	34,849	0	0	0	9月下旬	ナックルアームのボールスタッドの強度余裕が不足しているため、据切りの多用や操舵頻度の高い走行を繰り返すと、当該ジョイントに亀裂が発生するものがある。 そのため、そのままの状態で使用続けると、最悪の場合ボールスタッドが折損して操舵不能となるおそれがある。
42	排気パイプ亀裂	大バ	大型バス93モデル MS8 大型バス95モデル MS8, MU6	92/10 ~ 96/8		0	0	1	10月下旬	排気フロントパイプが亀裂し、同パイプ上側にあるハーネスを溶損する可能性がある。
43	T-ドライブシステム脱落	中バ	中型バスMK (T-ドライブ車) 中型バスMJ全車	85/4 ~ 95/8		0	0	0	10月中旬	走行中に車体後部から異常振動・異音が発生する。そのまま走行し続けた場合、トランスパースギヤボックスインプット部コンパニオンフランジのガタが増大し、フライホイールハウジングのトランスパースギヤボックス取付部が破損する恐れがある。
44	T/M シフトワイヤ折損	小ト	キャンター	99/3 ~ 00/7	8,171	0	0	0	8/4届出	シフトワイヤを中間で固定するクランプに取付け角度の不適切なものがあり、それによりワイヤの曲げ(R)が小さくなり、最悪の場合、シフトワイヤが折損するおそれがあります。
47	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	大バ 中バ	大型バスMS7.8 MP2.6.3.7 中型バスMJ (路線) MK MM3.8 ME	74/7 ~ 04/5	51,940	5	0	0	9月下旬	急ブレーキ時にバランスを崩した乗客が非常口横のシート(前転倒式)の背もたれにつかまると、シートのストッパーが外れ、シートが前に倒れる。

改善対策一覧

13	キャブチルト警告灯不良	大ト 中ト	(大ト)グレート、スーパ-グレート FU,FV,FP,FT,FW(手動チルト車) (中ト)ファイター EK,EL,EM,EN	83/8 ~ 99/11	246,862	0	0	0	9/1	キャブチルトロックが解除しているにもかかわらず、キャブチルトウォーニングランプが点灯しないおそれがあります。
45	AT車のPレンジ不良	小ト 小バ	キャンター、ローザ (オートマチックトランスミッション装着車)	90/11 ~ 01/9		0	3	0	9月下旬	レンジセレクトレバーをP-レンジにシフトして急坂路に駐車した時、オートマチックトランスミッション内のP-レンジギヤが機能しないことがあり、駐車ブレーキが引かれていない場合、あるいは引きが不十分な場合、車両が動き出すおそれがあります。
46	荷物扉開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (観音扉付き車)	97/10 ~ 02/3	1,077	0	0	0	9月下旬	走行中にキャッチからロックが外れ、観音扉が開放する恐れがある。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

2004.9.9

今回追加の案件
47項目

(1/9)

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数	届出予定日
29	フロントハブベアリング焼付き	リコール	中型トラック ファイター: FH,FK 中型バス エアロミティ: MJ,MK	34,531台 '02/06 ~ '04/09	精査中	9月中旬
32	インジェクションポンプラックの破損	リコール	大型トラック サ・グレート: FU,FV,FS 他 大型バス エアロクイーン: MS	5,161台 '94/11 ~ '96/07	精査中	9月下旬
36	エンジンリヤマウント破損	リコール	大型トラック スーパ・グレート: FU,FV,FT,FS 他	7,104台 '99/08 ~ '03/02	7,032	9月中旬
41	ナックルアームボールスタッド折損	リコール	小型トラック キャプター: FE	34,849台 '89/10 ~ '91/05	17,298	9月下旬
47	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	リコール	大型バス エアロクイーン, エアロスター: MS,MP,MM 中型バス エアロミティ: MK, 小型バス エアロミティ: MJ,ME	51,940台 '74/07 ~ '04/05	28,678	9月下旬

台数・生産期間については国土交通省と調整により変更も有り得る

47項目以外で新規市場措置の追加案件(通常のリコール案件)

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数	届出予定日
-	エンジンハーネスの損傷	リコール	大型トラック スーパ・グレート: FU,FV,FT,FS 他 大型バス エアロクイーン: MS, エアロスター: MP 他	21,427台 '98/07 ~ '04/02	精査中	9月中旬
-	リヤブレーキホイールシリンダ誤品	サービス キャンペーン	中型トラック ファイター: FK,FL,FH	182台 '02/03 ~ '02/04	182	9月10日 (通知予定)

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

2004.9.9

先週までに発表した届出予定案件

(2/9)

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数	届出日
17	非常ドアの開放	リコール	小型バス ローザ: BE6, BG6	3,666台 3,668台 '97/10 ~ '04/06	3,568	9月中旬
26	フライホイールリングギアの摩耗と破損	リコール	大型バス エアロスター: MP	2,052台 2,053台 '00/05 ~ '04/05	2,052	9月中旬
27	フロントハブベアリングへの水浸入	リコール	小型トラック キャンター: FE (フロント独立懸架車)	35,395台 35,373台 '02/05 ~ '04/03	34,840	9月中旬
31	A/Tオイルホース破損	リコール	中型トラック ファイター: FH, FK, FM (3速A/T車)	1,771台 '92/09 07 ~ '03/01	1,456	9月中旬
35	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	リコール	大型トラック スーパーグレート: FP-R, FV-R	739台 750台 00/03 ~ 03/01 '99/08 ~ '01/07	精査中	9月中旬
37	A/T油温上昇	リコール	中型トラック ファイター: FH, FK, FM (3速A/T車)	967台 '92/09 07 ~ '97/08	788	9月中旬
46	荷物扉開放	改善	小型バス ローザ: BE6, BG6	1,077台 1,078台 '97/10 ~ '02/03	1,052	9月中旬

<ご参考> この1週間で届出した案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数	届出日
14	キャブフックかかり不良	リコール	中型トラック ファイター: FK, FL, FM, FN (手動チルト車)	91,535台 '92/06 ~ '98/09	75,693	9月1日
33	キャブ電源ハーネスの損傷	リコール	大型トラック スーパーグレート: FU, FV, FT, FS他	53,760台 '96/04 ~ '03/11	52,052	9月1日
13	キャブチルト警告灯不良	改善	大型トラック グレート, スーパーグレート: FU, FV, FP, FT, FW (手動チルト車) 中型トラック ファイター: FK, FL, FM, FN (手動チルト車)	246,862台 '83/08 ~ '99/11	142,425	9月1日

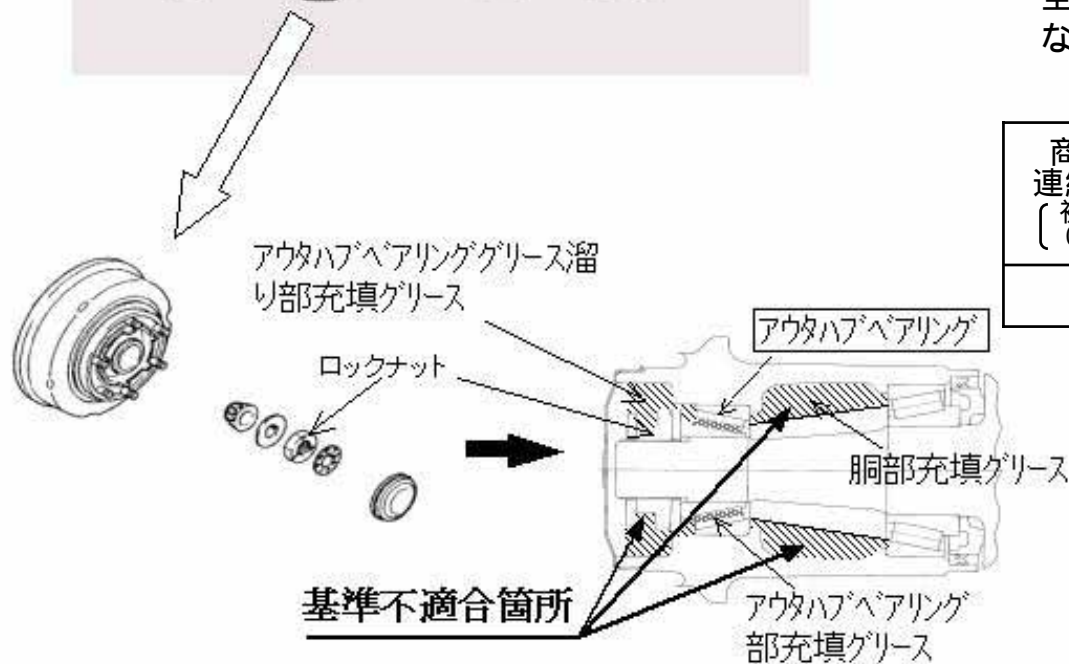
リコール	29 フロントハブベアリング焼付き (中型トラック, 中型バス)	生産34,531台 '02/06 ~ '04/09	实在登録台数 精査中
------	-------------------------------------	------------------------------	---------------



走行装置において、車軸組立の際、前輪ハブ外側軸受け部のロックナット締付けが不適切なものがある。また、前輪ハブ胴部のグリス充填量が不足しているものがある。そのため当該軸受けが潤滑不良により破損し、最悪の場合、走行不能または、火災に至るおそれがある。

改善内容

全車両、当該軸受けを点検の上、グリスを再充填する。
なお、軸受けに損傷の認められるものは新品に交換する。



商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 〔03/10月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
19	0	0	1	無し

：6/14会見時は商連書10件(04.03.31カット外)と発表したが、4/1以降の件数変動を確認した結果、火災1件を含む9件が発生したため訂正。

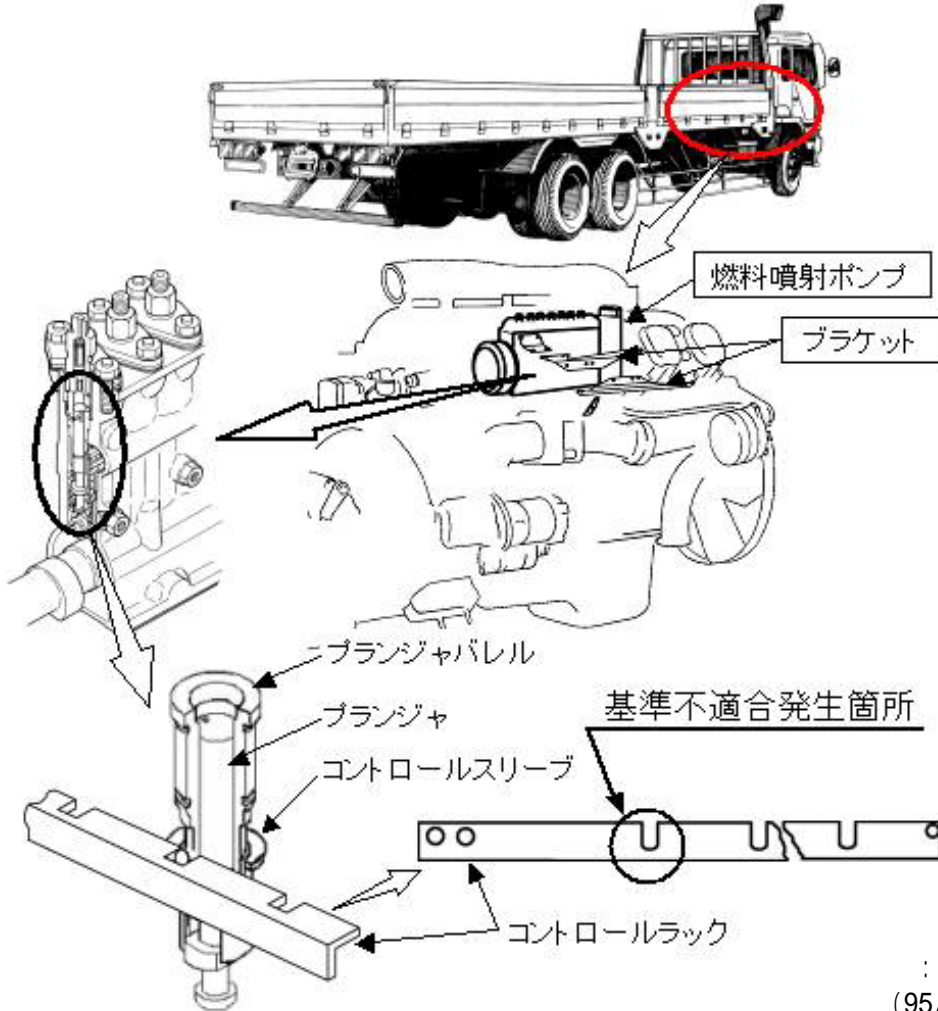
注1. は、交換部品を示します。
2. 記載内容は国交省届出時点に変更となる場合があります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

(4/9)

リコール	32 インジェクションポンプラックの 破損 (大型トラック, 大型バス)	生産5,161台 '94/11 ~ '96/07	实在登録台数 (精査中)
------	---	-----------------------------	-----------------



大型トラック・バス搭載8DC9(過給機付)および8DC11型原動機の燃料噴射ポンプにおいて、燃料噴射量を制御する噴射ポンプ内部構成部品のプランジャ回転角を調整するラックの切欠き溝の形状及び、原動機への取付方法が不適切のため、高回転域での使用を続けると当該ラックが折損しエンジン回転の制御が出来なくなり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善内容

コントロールラックの材質および形状を変更した噴射ポンプに交換する。
また、8DC11型原動機搭載車については、噴射ポンプにブラケットを追加する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報 95/07月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
58	0	0	12	有り (96/06月)

：最新情報に見直しを行い、トータルで商連書1件(火災1件)追加と初回情報を訂正(95/10 07月)、更に4/1以降を確認した結果、商連書2件(火災2件)発生したため訂正。

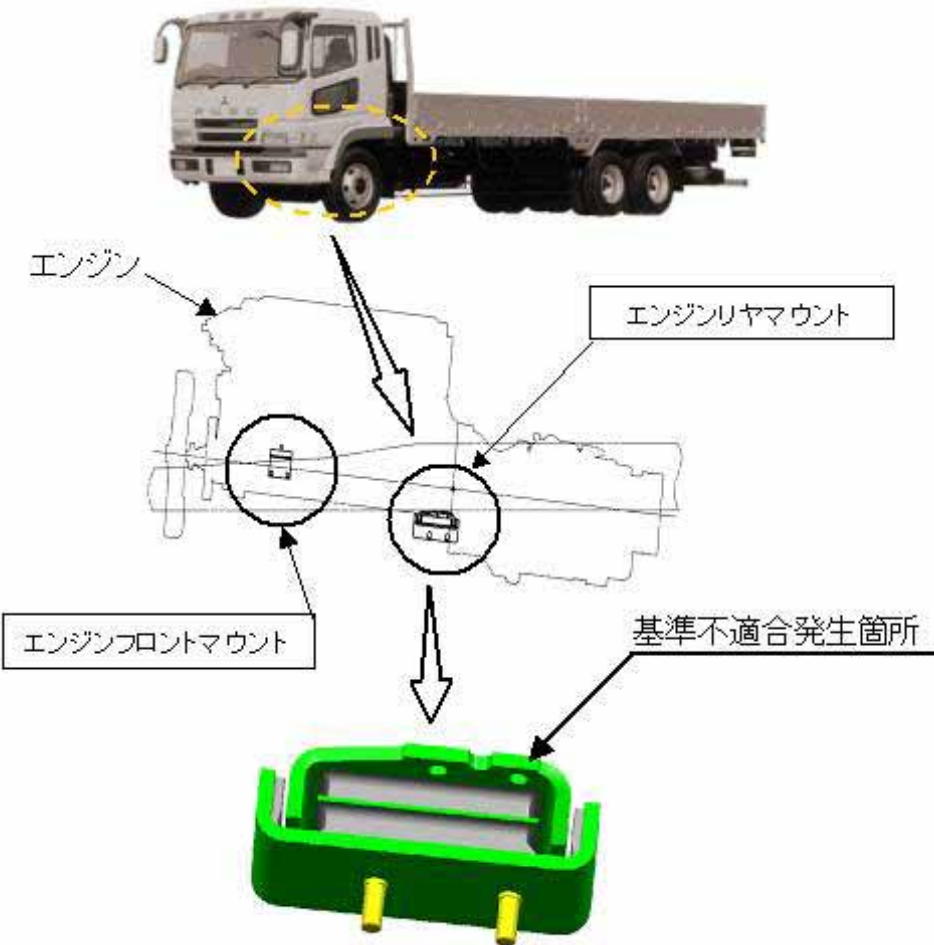
注1. □ は、交換および追加部品を示します。
2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

(5/9)

リコール	36 エンジンリヤマウント破損 (大型トラック)	生産7,104台 '99/08 ~ '03/02	实在登録台数 7,032台
------	-----------------------------	-----------------------------	------------------



エンジンを支持しているエンジンリヤマウントにおいて、防振ゴム部の強度が不十分なため、発進加速時のエンジン回転方向の揺動の繰返しにより、当該マウントのゴム部に亀裂が発生し、破断するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、エンジンフロントマウントも損傷し、最悪の場合、変速操作が出来なくなるおそれがある。

改善内容

全車両、エンジンリヤマウントを対策品と交換する。
また、エンジンフロントマウントは新品に交換する。

商品情報 連絡書件数 (初回情報 00/08月)	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
72	0	1	0	無し

: 最新情報に見直した結果、リコール対象外の不具合1件が含まれていたことと、さらに4/1以降に5件発生したため訂正。また物損事故が1件あることが判明。

注1. は、交換部品を示します。
2. 記載内容は国交省届出時点に変更となる場合があります。

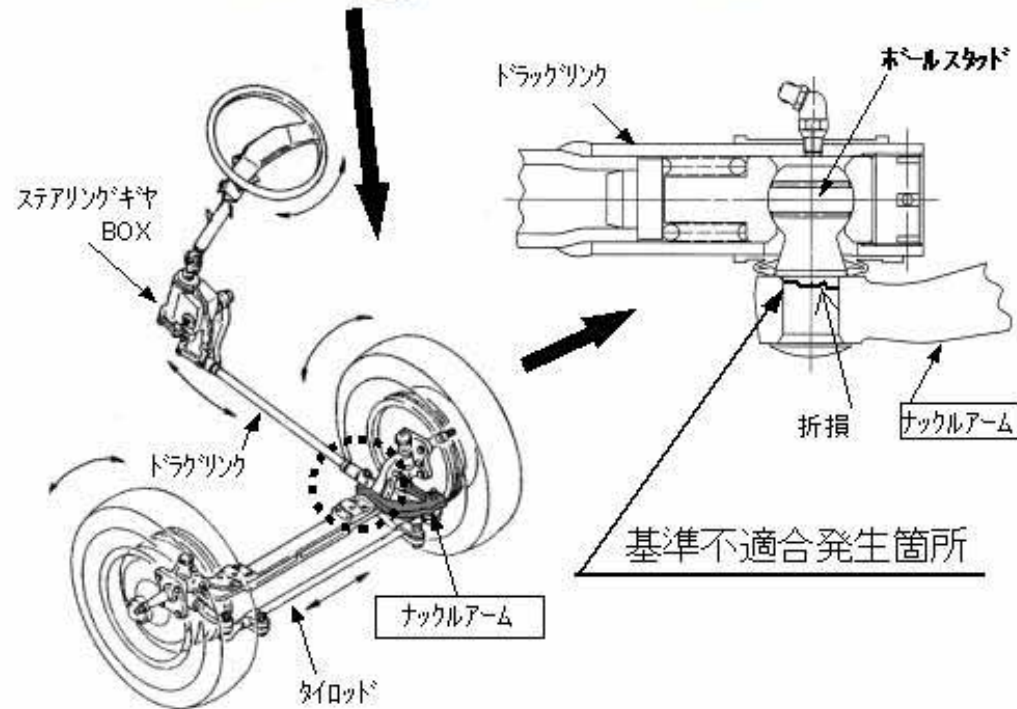
リコール	41 ナックルアーム ボールスタッド 折損 (小型トラック)	生産34,849台 '89/10 ~ '91/05	実在登録台数 17,298台
------	--------------------------------------	------------------------------	-------------------



ナックルアームのボールスタッドの強度余裕が不足しているため、据切りの多用や操舵頻度の高い走行を繰り返すと、当該ジョイントに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合ボールスタッドが折損して操舵不能となるおそれがある。

改善内容

全車両、ナックルアームを対策品と交換する。
 なお、対策品の全数供給に時間を要することから、当面の暫定措置として、ナックルアームのボールスタッド部の亀裂の有無を点検し、亀裂のある場合は対策品と交換し、問題のない場合は後日対策品と交換する。



商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 〔 93/12月 〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
6	0	0	0	有り (96/06月)

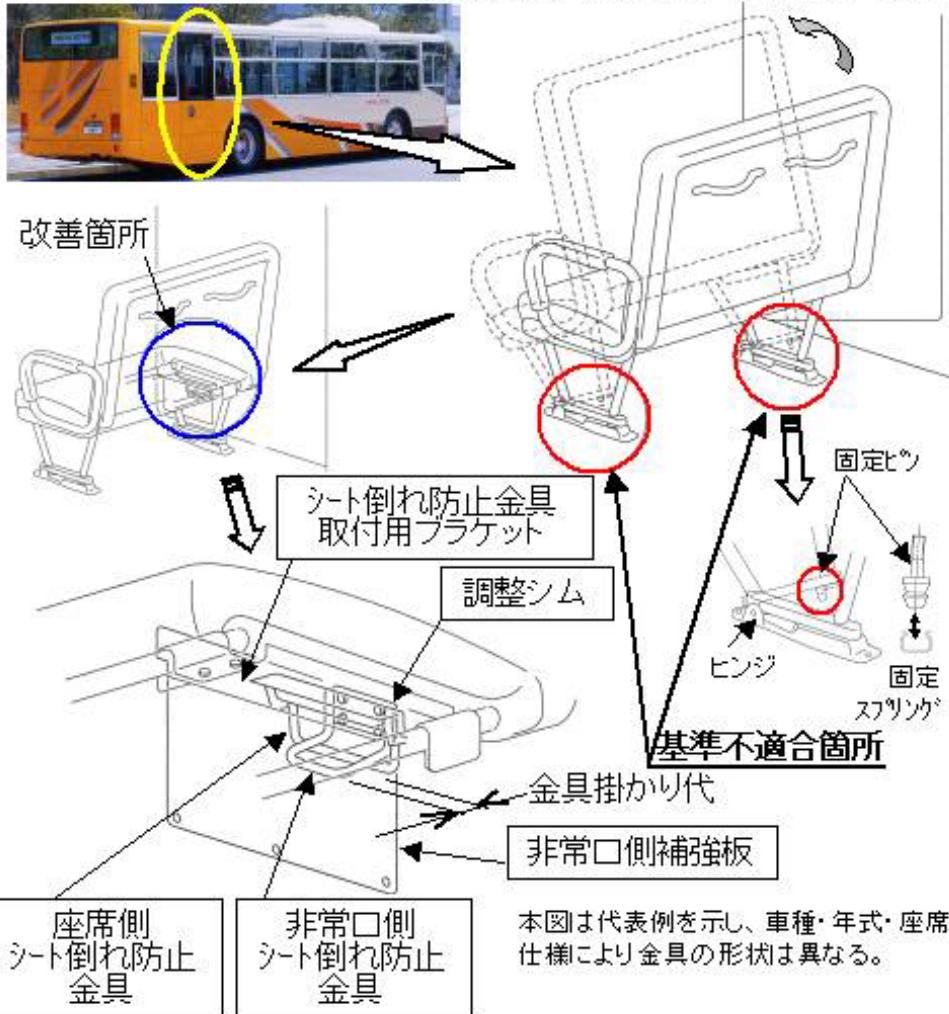
注1. は、交換部品を示します。
 注2. 記載内容は国交省届出時点に変更となる場合があります。

リコール	47 急ブレーキ時の非常扉シート倒れ (中型・大型バス)	*生産51,940台 '74/07 ~ '04/05	*実在登録台数 28,678台
------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------

室内非常口横座席を車両後方から見る



改善箇所



本図は代表例を示し、車種・年式・座席仕様により金具の形状は異なる。

中型・大型バスの非常口横の座席において、シート倒れ防止金具の無い車両に関しては、固定ピンの保持力が弱い。また、シート倒れ防止金具がある車両については、金具の取付けばらつきにより、掛かり代が不足しているものがある。そのため、急ブレーキにより乗客が非常口横の座席に倒れかかるとヒンジの固定が外れ、最悪の場合、座席が転倒する恐れがある。

改善内容

シート倒れ防止金具がない車両の場合は、シート倒れ防止金具を追加する。
シート倒れ防止金具がある車両の場合は、シート倒れ防止金具の掛かり代を点検し、掛かり代が不足している場合シムを追加して、掛かり代を適正化する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 〔93/11月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
7	5	0	0	無し

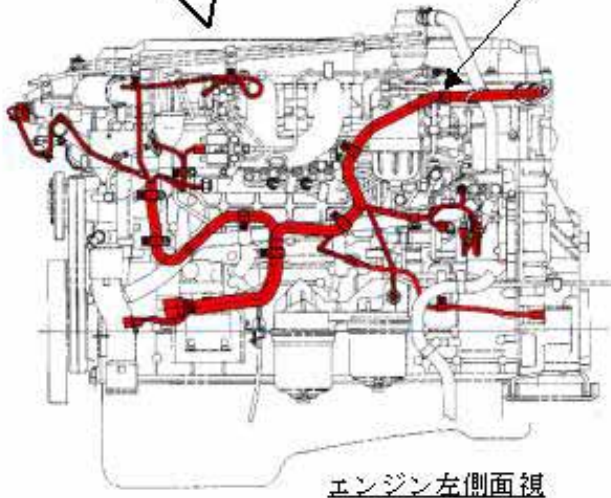
注1. □ は、追加部品を示します。
2. 記載内容は国交省届出時点に変更となる場合があります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

リコール	(47項目 以外)	エンジンハーネス損傷 (大型トラック, 大型バス)	生産21,427台 '98/07 ~ '04/02	实在登録台数 (精査中)
------	--------------	------------------------------	------------------------------	-----------------



ハーネス(被覆保護管付)



エンジン左側面視

エンジン制御用電気配線において、配線被覆の耐摩耗性が不足しているため、ハーネスの屈曲部でエンジン振動により当該配線被覆が配線保護管と擦れて摩耗損傷するものがある。その結果、電気配線がショートや断線してエンジンが停止し、最悪の場合、再始動できなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、当該電気配線の被覆を点検し、損傷があるものは配線修理するとともに電気配線保護管を対策品に交換する。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報 00/06月〕	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
95	0	0	0	無し

注1. は、交換および追加部品を示します。
 注2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

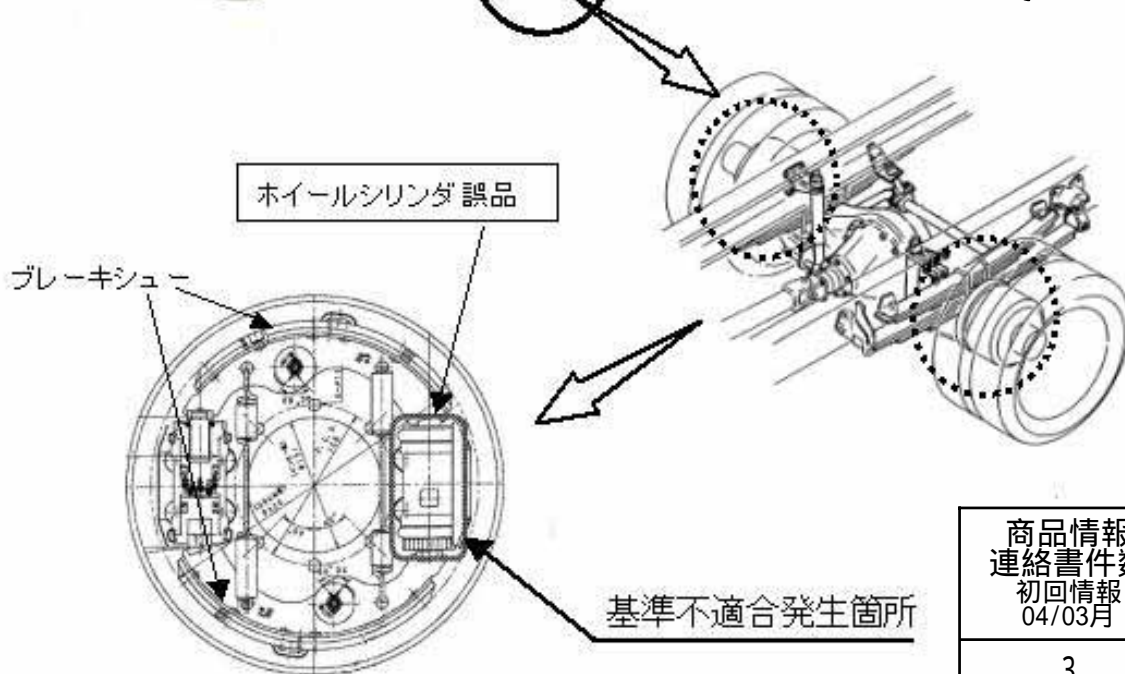
資料2

(9 / 9)

サービスキャンペーン	〔47項目〕後輪ブレーキホイール 以外〕シリンダー誤品(中型トラック)	生産182台 '02/03 ~ '02/04	实在登録台数 182台
------------	--	---------------------------	----------------



〔 中型トラックにおいて、後輪ブレーキのホイールシリンダに誤品を組込んだ車両がある。そのため、そのままの状態で使用を続けた場合、制動力が低下する。 〕



改善内容

全車両、後輪ブレーキのホイールシリンダを点検し、誤品が装着されている場合には正規品と交換する。

商品情報 連絡書件数 初回情報 04/03月	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
3	0	0	0	無し

注1. は、交換部品を示します。

2. 記載内容は国交省届出時点で変更となる場合があります。

市場措置実施状況 (9月4日現在)

2004.9.9

資料3

1. 大型トラック・バス ハブ関係の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況					
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実登録台数 (04年7月末現在)	暫定措置		恒久措置		合計	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック・バス フロントハブ不具合対策リコール (04年3月24日・1056) (04年4月22日・1076)	217,407 ('83年7月11日~'03年2月3日)	103,847	19,443 (18,729)	18.7% (18.0%)	55,372 (53,709)	53.3% (51.7%)	74,815 (72,438)	72.0% (69.8%)
2	大型トラック・バス リヤハブ不具合暫定対策リコール (04年4月15日・1072)	21,769 ('89年8月31日~'92年11月6日)	10,059	5,351 (4,988)	53.2% (49.6%)	—	—	5,351 (4,988)	53.2% (49.6%)
3	大型トラック25トン車 フロントハブ不具合対策リコール (04年8月19日・1204)	2,617 ('94年11月12日~'96年3月5日)	2,357	1 (0)	0.04% (0%)	48 (4)	2.0% (0.2%)	49 (4)	2.1% (0.2%)

・()内数値は、8月28日時点の数値を示す。

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実登録台数 (04年7月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック クラッチハウジング不具合対策リコール (04年5月26日・1092)	168,002 ('83年6月2日~'99年4月27日)	72,612	67,822 (65,353)	93.4% (90.0%)	0	0%
2	キャンター(ル・トバン仕様車)燃料タンク不具合対策リコール (04年6月15日・1083)	418 ('97年2月28日~'02年5月31日)	390	—	—	232 (217)	59.5% (55.6%)
3	MS8流体式リタ・ダ装着車プロペラシャフトエンドヨーク不具合対策リコール (04年6月15日・1111)	266 ('91年12月21日~'02年4月10日)	264	31 (31)	11.7% (11.7%)	71 (54)	26.9% (20.5%)
4	MS8・FU5 スプリング式駐車ブレーキ ウェッジ不具合対策リコール (04年7月14日・1112)	552 ('97年12月12日~'98年12月21日)	548	199 (146)	36.3% (26.6%)	23 (14)	4.2% (2.6%)
5	ファイター スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコール (04年7月14日・1166)	108 ('99年5月12日~'02年2月14日)	107	35 (26)	32.7% (24.3%)	2 (2)	1.9% (1.9%)
6	ファイター・エアロミディー スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコール (04年7月14日・1167)	1,760 ('99年3月10日~'00年6月14日)	1,723	360 (299)	20.9% (17.4%)	4 (2)	0.2% (0.1%)
7	キャンターブレーキライン不具合対策リコール (04年7月21日・1168)	9,018 ('99年3月31日~'04年5月12日)	8,817	2,179 (1,717)	24.7% (19.5%)	49 (30)	0.6% (0.3%)
8	キャンター ステアリングギヤ ボックス不具合対策リコール (04年7月28日・1176)	15,227 ('93年10月25日~'97年2月13日)	12,418	1,885 (1,391)	15.2% (11.2%)	0 (0)	0% (0%)
9	キャンター キャブハーネスワイパーリンク干渉不具合対策リコール (04年8月4日・1198)	36,787 ('95年3月14日~'96年12月25日)	31,409	—	—	2020 (864)	6.4% (2.8%)
10	キャンター トランスミッションコントロールケーブル不具合対策リコール (04年8月4日・1199)	8,171 ('99年3月24日~'00年7月30日)	7,929	1,535 (1,300)	19.4% (16.4%)	340 (166)	4.3% (2.1%)
11	大型トラック 後軸(非駆動軸)ハブベアリング不具合対策リコール (04年8月25日・1208)	31,255 ('89年9月26日~'00年3月16日)	18,177	8,180 (7,730)	45.0% (42.5%)	0 (0)	0% (0%)
12	中型トラック キャブフック不具合対策リコール (04年9月1日・1209)	91,524 ('92年6月29日~'98年9月29日)	75,693	9月1日届出につき 集計中			
13	大型トラック キャブ全面ハーネス不具合対策リコール (04年9月1日・1210)	53,717 ('96年4月24日~'04年7月19日)	52,009	9月1日届出につき 集計中			
14	大型トラック・中型トラック キャブチルト警告灯不具合改善対策 (04年9月1日・261)	246,852 ('83年8月27日~'99年11月30日)	142,425	9月1日届出につき 集計中			

・()内数値は、8月28日時点の数値を示す。

3. 47案件以外の届出項目の実施状況 (6月14日記者会見以降届出項目)

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年7月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型バス リヤブレ - キホ - ス不具合対策リコ - ル (04年6月15日・1110)	620 ('00年6月28日～'02年3月7日)	607	—	—	448 (418)	73.8% (68.9%)
2	CNG車 レギュレータガス漏れ不具合対策リコ - ル (04年8月4日・1195)	1,124 ('01年9月5日～'04年2月17日)	1,078	—	—	179 (86)	16.6% (8.0%)

・()内数値は、8月28日時点の数値を示す。

4. 緊急点検・無料点検の実施状況

緊急点検・無料点検 (04年7月1日開始)	緊急点検実施台数	無料点検実施台数
		170,191 (153,176)

・()内数値は、8月28日時点の数値を示す。

6/14以降の事故案件について

: 網掛け部が前回会見に対して追加・変更した箇所を示す。

2004.9.9

発生日時	場所	車両	スクランプル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
14日11時	香川県坂出市 瀬戸中央自動車道	F K515J 87年12月登録	済	瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ・ブレーキ系も作動テストにて異常なく、したがって、車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー-死亡 同乗者骨折	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車道下り走行中、松川IC先下り坂でブレーキを使用したところ、ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。デッド軸左側の内側の部分から出火 ・デッド軸左側のみベアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・デッド軸ハブベアリング焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み)
18日02時	愛媛県伊予市	FU416U 90年5月登録	済	左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・フロント及びデッド軸のブレーキ引きずりが発生。 ・エアマスター作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキ液に鉱物油が混入しておりエアマスター内のバルブシートが膨潤しブレーキ液の戻りが悪くなり、残圧が発生し、引きずり状態になったと推定。鉱物油の混入の時期、状況等については特定できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、 亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。
18日04時	広島県安佐南区 山陽自動車道	(追突車) FU410TZ 95年7月登録	済	前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・エンジンECUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー-死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	被追突車はフロントハブリコール対象 デッド軸ハブベアリング緊急点検対象 (2004年5月点検実施済)
21日04時	愛知県豊橋市	FP411D 94年9月登録	済	中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、プロペラシャフトも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。	ドライバー-死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象
21日22時	佐賀県神埼町 長崎自動車道 東のぎインター 手前バス停	FU410U 96年3月登録	済	ドライブ軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。ドライブ軸ハブベアリング正常。ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・左ドライブ軸のインナタイヤのワイヤが露出し、タイヤバーストしたと思われる痕跡有り。 ・タイヤバーストによりウイング用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済)
23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・デッド軸右側のアウターベアリング焼き付き破損、目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキインゲ下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリヤ3輪とも、ロックナットに緩み有り。 ・後軸4輪のグリスの調査完了、ベアリングは調査中。 ・不具合発生部位以外の3輪のグリスは、使用に適さない性状である。(除く後々軸左アウターベアリング部) ・不具合部位のグリスは、熱や消火作業時の放水の影響を受けていると思われる判定困難。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	
23日10時	千葉県野田市 県道7号線	FE50EB 00年12月登録	済	前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。 ・制動力異常無し、ABS装置も診断結果エラー無く問題無し。 ・車両として正常であり問題無いと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	ABSプログラム 改善対策対象車 (2002年3月 措置済)
24日10時	和歌山県 阪和道 御坊～南部	FE435E 93年9月登録	済	走行中エンジン吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところセルモータ付近の配線から発煙。若干焦げた程度。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコンロッド突き出し。 ・エンジンオイルの残量が異常に少なく、更に、エンジン周りに多量のオイル漏れが発生していることから、オイル不足からベアリング焼け、コンロッド破損に至ったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/5日18時	群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近)	BE459F 95年8月登録	済	車体から白煙が見えたので停車。エンジンルームから炎が出ていたので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キースイッチコイルとの関連性は少ない。 ・エンジンルーム内は全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く延焼したものが、火元かの判別は困難である。 ・燃料パイプ、噴射ポンプ噴射管に亀裂なく、これらからの燃料漏れの可能性はない。オルタネーターは県警が調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	スターター-キースイッチリコール対象 (2003年6月 措置済)
7/7日14時	埼玉県加須市 東北自動車道下り 加須IC先約3km	FE437EV 90年8月登録	済	走行中、突然ホーンが鳴り放し。ブレーキも効かず、キャブ下から煙。 車両を路側に停めるとキャブ炎上、消防車出動し消火するが、キャブ、エンジン、ホデー全焼。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコンロッド突き出し。エンジンオイル残量なし。 ・潤滑不良によるエンジン焼けかと思われる。オイル管理状況についてはユーザーから警察および販社に整備記録を連絡。 (直近のオイル交換記録は 04年5月20日)	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し

発生日時	場所	車両	スクランプル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
7/14日20時	山口県 中国自動車道上り 美弥インター付近	FV415JR 93年5月登録	済	プロペラシャフトが脱落。後続車が脱落したプロペラシャフトにタイヤを擦ったが、事故にならず。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・フランチョークのボルト穴部から破断している。現在プロペラシャフトの破断面調査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
7/18日16時	長崎県嬉野町 長崎自動車道下り 嬉野IC付近	BE632G 98年11月登録	済	走行中、エンジン付近から発煙、路肩に停車した。このあと出火し、エンジンルーム内が焼損している。 ・エンジンルーム内の上部が焼損、エンジンオイル洩れが激しい。 ・形跡から見て古くからの洩れ。ロッカシャフトが折損。 ・科捜研が7/27車体から降ろしたエンジンを再見分した。 ・エンジン分解調査中。	なし	関連性不明	スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済)
7/21日9時	北海道登別市 豊浦町 国道36号線	FP415DR 90年4月登録	済	走行中、異臭とキャブバック付近から煙が上がった。ブレーキに積載の古紙に延焼し、全焼。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・焼損はキャブ後部のみでエンジンは燃えていない。エンジン後部ターボチャージャ出口吸気パイプが溶損。 当該部付近に配策されているゴム製燃料ホース(定期交換部品)が焼損紛失していることから、何らかの原因で、ホースから洩れた燃料がターボチャージャの熱で着火、延焼したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/25日9時	島根県安来市 山陰自動車道 安来IC付近	MS821P 94年6月登録	済	走行中、左後輪タイヤ付近から発火。内側タイヤの車両内側面が焼損している。 ・ブレーキが引きずった形跡あり。タイヤが焼損、ハーストしている。 ・後軸のブレーキ関連部品の調査および実車調査を実施。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
7/28日4時	福岡県北九州市 都市高速4号線 紫川IC付近	FV514H 98年2月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフトがデフ側で破損し脱落。 ・インクテフのコムパニオンフランチョークの根元破断し、プロペラシャフト脱落したと推定。 ・ネジの根元部の破損は谷部全周を起点とした疲労破壊。継続調査中。	当初物損のみ その後8月下旬 に2名通院中 と判明	47案件(No.24)に該当する 可能性があり調査中	シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
7/29日5時	福島県会津坂下町 磐越自動車道 上り	FV411T 94年3月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフト3本が脱落。 ・フライホイールハウジングが亀裂。フライホイールハウジング取り付けボルト6本脱落、6本緩みあり。 クラッチハウジング 取付けボルトも下部2本緩み(トルク)。ボルト緩みによりフライホイールハウジングが2次的に亀裂した ものが、2次的に亀裂したものが、今後、整備記録含め原因調査中。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
7/29日18時	大阪府東大阪市 市道	MS821P 94年5月登録	済	走行中、右後輪付近から発煙、発火。乗客が消火器で消火。内側タイヤが焼損。 現車を調査した結果、タイヤがハースト、焼損しており、後輪ブレーキが引きずった形跡がある。 但し、再現試験でもブレーキ引きずりは再現せず、戻りも良好。チャシも異常なし。現在関連部品を調査中。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/31日朝	秋田県横手市	FV511TZ 98年3月登録	済	タンデムプロペラシャフトが脱落。車両横転し、ドライバが怪我をして病院に搬送。 ・積荷は産業廃棄物で36%過積載、高荷状態であり、旋回時ロールし易く、車速超過による操作ミスで横転と推定。 ・横転による2次不具合として、プロペラシャフト脱落したと思われる。(ドライバはシートベルト未装着)	なし	関連性については 精査中	シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済)
7/31日14時	大分県中津市	FS419TZ 94年3月登録	済	走行中にエンジンが急に噴き上がり、路肩に停車させ、キャブチャルトし、噴射ポンプのアクセルワイヤを引くもエンジン停止 せず。その間マフラー過熱し、マフラー廻りから出火しタイヤ、バッテリー、タンクなどを焼損。 ・噴射ポンプの分解調査実施。コントロールラックがバルブ側1気筒目の溝部底を起点として疲労破壊している。 コントロールラックの折損により噴射ポンプが制御不能となりエンジンが吹き上がったものと推定。 現品は過去にSS店で修理を行っておりその内容を確認中。DPFマフラー調査完9/未。	なし	47案件(No.32)に該当する 可能性があり調査中	フロントハブリコール対象 (2004年6月 暫定点検済み) タンデムプロペラシャフトリコール対象 リヤプロペラシャフトリコール対象 (プロペラシャフトはいずれも未実施)
8/1日19時	富山県入善町 国道8号線	FU510UZ 99年9月登録	済	走行中、異音が生じたため路肩に停車したところ左前輪から出火していた。その後運転席部分などを焼いて鎮火。 ・左前輪アウターリッジが破損し、ブレーキひきずり発火したものと推定。 ・フロントハブアリングおよび関連部品を調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
8/8日20時	島根県松江市 国道9号線	MS821P 94年6月登録	済	7月25日タイヤ焼損した車両に対し、ブレーキ関連部品を新品に交換した。しかし再度左後輪がひきずり発煙した。 ・現車の左後輪にライニング焼けを確認した。定置では今回もブレーキひきずりを再現できず。チャシも異常なし。 ・新品部品に交換したが再発したため、車両引取り、7/29発生の大阪の車両とともに実車再現試験を実施。 ・1台(大阪)の車両で走行時ブレーキの引きずりを再現。ブレーキのエアラインに残圧が発生。もう1台(松江)の車両 は、実走行では再現せず。ただし、2台とも定置でブレーキ配管系を加温すると残圧が発生することを確認。 現象は確認できたが、不具合原因の特定には至らず、なお継続調査中。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
8/11日14時	長崎県佐世保市 西九州道 大塔IC出口市道	FP445D 94年9月登録	済	車両全焼。ブレーキ部焼損。詳細は不明。 ・キャブ後部の焼損が激しく、原因については県警捜査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
8/26日3時	広島県西条市 山陽道下り 西条IC手前	FU54JUJ-530115 03年9月登録	予定 (9/10日)	後前軸(駆動軸)左内側タイヤの内側付近から出火。車載の消火器で消火。 駆動軸Vロッド上部のボールジョイント抜けが発生している。駆動軸が右へずれている。	なし	関連性不明	該当なし

大型車クラッチハウジングリコール届出以降の重要不具合（破断発生状況）

2004.9.9

資料5

No	シャシ	発生日	走行	調査品			路上故障	人身物損事故	商連書情報	発生場所	
				返却日	現品有無	返却品					亀裂有無
1	FV419J	040602	598,293	6/21	7/1廃却	C/L Hsg	有り (全周亀裂)		無し	高速道走行中、異音発生と共に走行不能となり停止。レッカーにて入庫。クラッチハウジング亀裂、ペラ脱落、燃料タンク及びその他周辺破損。	東京都首都高速駒形インター付近
2	FV419PZ	040609	474,952	6/16	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)		無し	走行中、振動大との訴え有り、作業現場へ出張点検結果、クラッチハウジングに亀裂を確認。レッカーで入庫。	静岡県小笠郡大東町の作業現場
3	FV419J	040529	623,573	6/11	有り	T/M Assy	有り (全周亀裂)		無し	走行中大きな音と激しい振動発生、走行不能となりそのまま惰性で走行、道の駅に入場。車体下確認したところ、クラッチハウジング破損しT/Mぶら下がっており、プロペラシャフト脱落し付いていない。レッカーにて工場搬入。	静岡県国道1号バイパス新富士川橋
4	FV411J	040624	910,475	7/7	有り	T/M Assy ペラ等	有り (全周亀裂)		無し	走行中T/Mのケースが破断し、脱落しそうになっているとの連絡有り。レッカー業者にて工場入場。T/Mケースがクラッチハウジング後部で破断し、輪切り状態になっている。プロペラシャフトヨークが抜け落ちて無くなっている。	埼玉県大宮バイパス宮前町付近
5	FP411D	040529	935,564	8月18日	有り	T/M Assy	有り (約6/7周)		無し	高速道IC出口にて、T/M不良にてシフト不能、オイル漏れで動けない為レッカーにて入庫。T/Mケース前部に亀裂が入り、オイル漏れを起こしていた。	京都府名神高速京都南IC付近
6	FV419RZ	040603	414685以上 (メタ交換歴有)				ユーザ持ち帰り 現品入手不可		無し	クラッチ踏み代変化し、2速・3速へのギアシフト硬い。走行中のシフトダウンが出来ない。高速走行時、焼けた様なおいがした為クラッチディスクの残量点検して欲しい。以上の申し出にて工場入庫。クラッチハウジング左上部約1/3を残して円周状に割れていた。クラッチハウジング取付ボルトは4本脱落。	滋賀県京滋ふ東東工場へ入庫
7	FW429M	040611	239,495	7/13	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)		無し	異音発生。走行中止。クラッチハウジングに亀裂発生し、自走にて修理工場入場	北海道中標津付近
8	FP414D	040704	638,575	7/29	有り	T/M Assy ペラ	有り (約6/7周)		無し	西名阪自動車道を走行中シフトチェンジしたところガキッと異音発生しプロペラシャフト脱落、T/Mオイルが洩れていた。T/Mケースのクラッチハウジング接合面で亀裂。	奈良県西名阪道、法隆寺IC付近
9	FV416P	040710	275,358	7/20	有り	T/M Assy F/W Hsg ペラ等	有り (全周亀裂)		無し	高速道走行中、突然出力が落ち（No1ペラが約400m後方に有り）、直後チェンジレバーが大きく振れダウンと音がした為、惰力でバス停に車を止めた。レッカー搬入。No1ペラシャフトジョイント破損脱落。スパイダーに焼付き見られず（前後共）。クラッチハウジング全周より亀裂。T/M前側は残り、後側は地面に落下。引き摺って走行。燃料タンク一部ペラにて損傷。	熊本県九州自動車道下り（熊本～益城）
10	FV416P	040527	1,154,468	7/19	有り	C/L Hsg F/W Hsg	有り (全周亀裂)		無し	クラッチフィーリング不良、シフト時ギア鳴りの申し出あり。クラッチハウジング亀裂を確認。亀裂はクラッチハウジングの下側半周に及んでいる。	福島県の販社に点検入庫
11	FV419T	040609	422,724	7/12	有り	C/L,エンジン, ペラ部品	有り (左80mm)		無し	走行中異音と振動で停車し、点検、ハウジング亀裂有りとの連絡有り。レッカー入庫。T/M Assy脱着内部点検。プロペラシャフトスパイダー損傷にて走行不能。	茨城県八千代町
12	FN428T	040720	1,131,329	8月18日	有り	C/L Hsg, C/L,ペラ等	有り (全周亀裂)		無し	保土ヶ谷バイパスを走行中に、T/M付近から異音発生、路肩に停車し点検した所、T/Mが傾いていた。レッカーにて工場入庫。クラッチハウジング全周にわたって亀裂が入っていたため、プロペラシャフトがT/M継手部で破損し脱落したが、T/Mは脱落していなかった。周辺機器への損害はなし。	神奈川県の販社に入庫
13	FV419J	040721	470,050				販売会社の手違いにより販売会社にて廃却		無し	走行時車体振動が酷いと申し出にて各部点検実施。クラッチハウジングが約3/4周にわたり亀裂発生。メインシャフトロックナットに弛み確認。	神奈川県の販社に入庫
14	FV415J	040715	609,350	7/30	有り	C/L Hsg	有り (左660mm, 右150mm)		無し	クラッチが切れない為レッカーにて搬入。クラッチハウジング取付ボルト全数緩み。クラッチハウジング左側に輪状亀裂40mm程度を確認。	沖縄県

注1. 太枠は、8月31日報告済の項目を示す。